

平成28年9月8日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

福島町議会議員 溝 部 幸 基 ㊟

### 研 修 成 果 報 告 書

福島町議会議員の研修に関する条例第7条の規定により、次のとおり成果を報告します。

#### 記

- 1 研 修 日 時 平成28年7月5日(火)  
午後1時～午後4時33分
- 2 研 修 先 札幌市 「札幌コンベンションセンター」
- 3 研 修 目 的 平成28年度北海道町村議会議長会主催議員研修会
- 4 成果(具体的に)

#### 【研修会講演内容】

(1) 午後1時10分～午後2時40分

「ひとを動かし、まちを動かす」

立正大学客員教授 高野 誠 鮮 氏

(2) 午後3時00分～午後4時30分

「日本の行方～政局・政治展望」

東京新聞・中日新聞論説副主幹 長谷川 幸洋 氏

## 【考察】

### (1) 「ひとを動かし、まちを動かす」 立正大学客員教授 高野 誠<sup>じょうせん</sup> 氏

高野氏の活躍については、メディアが多数取上げ、テレビでドラマ化もされており、私自身もよく周知している。公務員らしからぬユニークな発想と抜群の行動力で、神子原（みこはら）米のブランド化、UFOによる町おこし等を実践、限界集落からの脱出を実現させる等、華々しい成果を実現、スーパー公務員と評価されている。

実践の手法は、「会議はやらない」、「企画書は作らない」「事後報告でスピード化」等、型破りな挑戦は、当初、住民の理解を得られず「住民から総スキャンを食らった公務員」と言われていた。

特筆すべきことは、

- ① 任務を受ける際の「一切の稟議を廃し、自分自身の決断で進める」とする条件を受入れた市長の裁量と洞察力。
- ② 無心の姿勢、依存を断ち切る決断、ユニークでロマンある着想、合理的な洞察力、初心を貫く実行力をそなえた高野氏の資質である。

どこの自治体でも、誰でも同様なことができる程、単純なことではなく、個々の自治体、個々人の状況で最善を尽くしたとしても間違いなく失敗することの可能性のほうが高いと思う。育てる・挑戦の機会を与える「裁量・洞察力」の視点、依存からの脱却・自主自律で自らの資質を鍛え挑戦する視点で、一步ずつ前進することを心がけていくことが大切である。

### (2) 「日本の行方～政局・政治展望」

東京新聞・中日新聞論説副主幹 長谷川 幸洋 氏

先ず、参議院議員選挙（7月10日）を控えたこの日程で、長谷川幸洋氏を講師に選定した道町村議長の意図に疑問を感じざるを得ないことを指摘しておきたい。

政党支持のスタンスについては、極端に偏重しない程度に選定されることに異論を挟むつもりもないが、聞きたくもない裏話で笑いをとる芸能人的な話術？は、御用記者の本領発揮といったところであろう。東京新聞での異端ぶりを自慢げに披瀝し、野党をこき下ろす舌鋒は、滑稽に聞こえる。わざわざ札幌まで出かけて聞かなければならない内容なのか、あきれて不快感さえ覚えたことを書き記しておきたい。読売テレビ「そこまで言って委員会」で歴戦の猛者を前にしての勇士？では、今回のような感覚にならなかったのですが、本性が見えたということなのではないでしょうか？

ちなみに、一昨年の講師であった、読売新聞橋本五郎氏の講演の際には、今回のようなことがなかったことを書き加えておきます。